

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月1日

千葉市長 殿



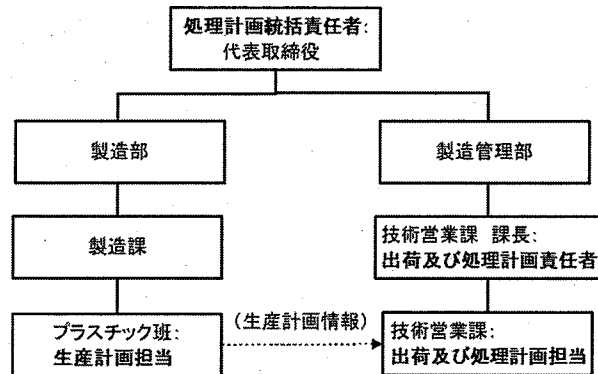
提出者
住 所 千葉市緑区大野台1-2-1
氏 名 (株)グリーンサイクルシステムズ
代表取締役社長 山田 寿
電話番号 043-205-5451

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 グリーンサイクルシステムズ
事業場の所在地	千葉市緑区大野台1-2-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：プラスチック製品製造業 小分類：廃プラスチック製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額 23億円
③従業員数	55名（正社員51名 出向4名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・排出量の27%を占める「廃アルカリ」については、令和4年実績に対し63%（457 t）の排出量を抑制した。要因としては設備導入（加圧脱水機）による、循環水と残差（固体圧縮化）に再分別を行い、循環水は工場で再利用した為。 ・排出量の71%を占める「廃プラスチック」については、令和4年度実績に対し14%（115 t）産廃出荷減することができた。要因としては、乾式比重選別から選別される有価物と逆有価物の回収バランスに変化あり、有価物への回収量が増加した為。		
② 計画	【本年度（令和6年度）目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・新設備（加圧脱水機）を100%稼働させ、廃アルカリの更なる排出圧縮と有価サーマル荷受け先へ安定した出荷確保を継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・工程から発生する「廃油」については、その性状によって別に回収し、一部は精製・再利用目的で有価物として出荷している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・廃プラスチックの再生利用業者への出荷増と安定的な出荷確保を継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【本年度（令和5年度）目標】別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
① 現	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃酸	廃油	木くず		
	排出量	274t	716t	9.8t	1.8t	2.6t	t	t
② 計	【本年度（令和6年度）目標】							
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃酸	廃油	木くず		
	排出量	32t	680t	9.8t	1.8t	2.6t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
① 現	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃酸	廃油	木くず		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	t	t
② 計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃酸	廃油	木くず		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
① 現	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃酸	廃油	木くず		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	t	t
② 計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃酸	廃油	木くず		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃酸	廃油	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃酸	廃油	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
① 現 状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃酸	廃油	木くず	
	全処理委託量	274t [✓]	716t [✓]	9.8t [✓]	1.8t [✓]	2.6t [✓]	
	優良認定処理業者への処理委託量	274t [✓]	579t [✓]	9.8t [✓]	1.8t [✓]	2.6t [✓]	
	再生利用業者への処理委託量	0t	344t [✓]	0t	0t	0t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	
② 計 画	【本年度（令和6年度）目標】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃酸	廃油	木くず	
	全処理委託量	32t [✓]	680t [✓]	9.8t [✓]	1.8t [✓]	2.6t [✓]	
	優良認定処理業者への処理委託量	32t [✓]	551t [✓]	9.8t [✓]	1.8t [✓]	2.6t [✓]	
	再生利用業者への処理委託量	0t	326t [✓]	0t	0t	0t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	